

朝酌地区民生児童委員協議会

松江市民生委員・児童委員の改選が令和4年12月行われ下記の方々に委嘱されました。朝酌地区の民生委員・児童委員に変更はありません。引き続きよろしくお願いたします。



生活や家族のこと、福祉や地域のことなど、お気軽にご相談ください



朝酌地区民生児童委員協議会名簿 (令和4年12月～令和7年11月)

氏名	担当地区	住所	電話番号	
古藤 和則	大海崎	大海崎町 423	39-0307	民生児童委員
野津加寿美	大井	大井町 442	39-0019	
松浦 辰彦	福富・矢田	朝酌町 981	39-0413	
深貝 恭悦	朝酌	朝酌町 652	39-0048	
原 美江	西尾・西尾団地	西尾町 229	39-0287	
野田素三子	岩崎・太陽・市宮	西尾町 476-5	78-9372	
羽室 利恵	朝酌地区全域	朝酌町 710-1	39-0713	主任児童委員
米原 房江	朝酌地区全域	西尾町 907	39-0358	

暮らしの相談窓口の紹介 ～お困りごとありませんか～

- ◆ 高齢者に関する悩み、疑問等の総合相談窓口
松東地域包括支援センター ☎ 24-1810 Fax28-6628
- ◆ 障がいのある方や家族が安心して相談できる総合窓口
まつえ障がい者サポートステーション「絆」 ☎ 60-0400 Fax21-4001
- ◆ 生活の困りごとや抱えられている不安などの相談窓口
松江市暮らし相談支援センター ☎ 60-7575 Fax60-7576



『篤志寄付金』のお願い

朝酌地区社会福祉協議会（福祉推進委員会・朝酌健康推進隊を含む）の福祉活動の財源は、地元負担費・松江市社会福祉協議会の補助金・助成金のほか、皆様からの『篤志寄付金』に大きく支えられています。

今後とも、厚い志を賜りますよう引き続きお願い申し上げます。

誕生祝 贈呈事業 のお知らせ

朝酌地区社会福祉協議会では、子育て支援として朝酌在住のお子様誕生された際に、誕生祝いのお書カードをお渡ししています。

該当の方は各町内会・自治会長までお知らせください。



あさくみ

福祉だより

37

『第6次朝酌地区地域福祉活動計画の策定について』

社会福祉協議会 会長 古藤 和 則



日頃から朝酌地域の皆様には、朝酌地区社会福祉協議会の運営及び各種事業の推進に、格別のご理解とご協力をいただき心からお礼を申し上げます。

始めに「地域福祉計画等」について説明いたします。

「地域福祉計画」とは、社会福祉法の規定に基づき地方公共団体が行政計画として策定するもので、地域福祉を進める上で理念や仕組みをつくる計画です。

地域における高齢者、障がい者、児童、その他の福祉の各分野における共通的な事項を記載する、「上位計画」として位置づけられています。

「地域福祉活動計画」とは、社会福祉法の規定に基づく「社会福祉協議会」が活動計画として策定するものであり、「住民」「地域で福祉活動を行う者」「福祉事業を運営する者」が協力して、地域福祉の推進を目的とする実践的な活動、行動計画です。

現在、朝酌地区社会福祉協議会では、朝酌地域の皆様のための福祉活動計画である「第5次朝酌地区地域福祉活動計画」に基づいて、次の重点活動を行っています。

- 1 福祉活動体制づくり
- 2 広報活動の強化と情報提供のあり方
- 3 ボランティア人材の把握と育成
- 4 小地域福祉活動の推進
- 5 見守り活動の推進



令和元年度にスタートした計画も、令和5年度で終わりとなりますが、この間、新型コロナウイルス禍により、なごやか寄合い事業など十分に出来なかった活動がありました。

ボランティア活動については、現在14名の方から賛同していただき、令和5年度から活動が出来るよう、準備をしているところです。

また、「見守り活動の推進」の見守り隊の設置については、積み残しとなっていますが、あと1年ありますので、各町内会、自治会において、見守り隊の設置について検討していただきたいと思っています。

第5次計画が令和5年度で終了するため、令和5年度中に「第6次朝酌地区地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）」を策定する必要があります。

「安全で安心して暮らせるまちづくり」の基本理念を踏襲し、住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らしていけることを目指し策定したいと思っています。

今の日本の社会情勢、地域の中で、8050問題、ダブルケア、虐待、こどもの貧困、ヤングケアラー・不登校、孤立など心を痛める様々な社会問題がたくさん起こっています。

第6次活動計画の策定にあたっては、第5次活動計画の振り返りをし、朝酌地域の課題を検証し見直しをいたします。

地域の実態把握などについては、アンケート・座談会などで、高齢者、若い世代、小中学生などの皆様から幅広く聞きたいと思っています。

朝酌地域の皆様には、一層のご理解とご協力が必要ですので、益々のご支援をお願いいたします。



写真で見る活動



福祉推進員委嘱状交付式 (5月18日)



和久羅山登山 (10月15日)



福祉推進員研修会 (11月15日)



松東ウォーク (11月20日)



和久羅山登山 集合 (10月15日)



がん検診広報吹き込み



がん検診広報活動



文化作品展展示



ボランティア組織検討

少しずつコロナも落ちつき、地域福祉の新しい形へ

朝酌地区 福祉推進員代表 福良 智洋

新型コロナウイルスのおかげで、福祉推進員の活動も変化がみられました。なごやか寄り合い事業は中止され、これまで継続して行ってきた集まりも中止を余儀なくされてきました。そんな中でも、地域の繋がりを途絶えさせないように、ご自宅1件1件に訪問したり、感染対策をしっかりと行った中での催し等を実施してきました。福祉推進員のみなさんが工夫をこらし、とても頑張っていた1年でもありました。

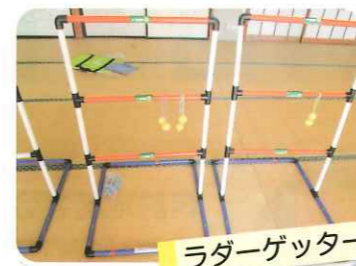
朝酌の地域福祉を考えると、地域住民の高齢化や孤立に伴う、生活の困り事や移送の問題。子ども達のさまざまな体験が少ない相対的貧困など、地域で抱える課題は様々あります。地域の課題は地域で解決したい。自助・互助をベースに地域で何が出来るのか？日々模索しています。すべての課題を解決する事は難しいですが、一つ一つ、想いを形にしていながら、地域福祉の新しい形を作って行きたいと考えています。

その一つとしては、朝酌にも子ども食堂を開設しました。ミライそうぞう食堂は西尾町の空き家を活用し、月に一度開催しています。子ども食堂は子どもだけの居場所ではなく、朝酌地区のすべての人が対象です。子どもも大人も、障がいをもっても、歳をとっても、みんなが集い、同じご飯を食べ、同じ空間で楽しい時間を過ごします。みなさんにとって心地よい居場所になりたいと思っています。ぜひ一度遊びにきてください。

また、来年度より生活の困り事を解決するために、有償ボランティアのサービスも始まります。地域で困っている人は、地域の人がサポートしたり、お手伝いをする。そんなお互い様な精神で、繋がる地域をこれからも目指していきます。



レクリエーション道具の貸出しています。地域の活動でご活用ください。



ラダーゲッター



ターゲットゲーム



フロアバスケット



ヨガマット



室内ペタンク



室外ペタンク

